

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。



第61代副議長
大井 知敏



第61代議長
平林 俊彦

就任のご挨拶

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち両名は、昨年11月臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。

地方自治体を取り巻く環境は、景気悪化が下げ止まりつつも、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く、地方税収入の落ち込みにより、財源不足となっております。

そのような中で、いかに効率良く行政運営を行うかが問われ、二元代表制の一翼であります議会の政策形成機能、そして監視機能という権能を十分に発揮し、市民福祉の向上に努める所存です。

松戸市議会では、4常任委員会のそれぞれの所管事務の中から市政の課題を選び出して、定例会中だけでなく、閉会中も継続的に調査を続け、その結果を本会議において、各委員長から報告を行い市長へ政策提言しました。

我々市議会は、引き続き研鑽を深め、市民の皆様の負託に応えるために、より充実した議会活動を目指してまいりますので、今後皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議場でのコンサートに耳をかたむける市民のみなさん

委員会の構成

総務財務常任委員会

- 委員長 中川 英孝
副委員長 杉山 由祥
委員
山中 啓之 織原 正幸
高橋 妙子 中田 京
矢部 愛子 深山 能一
二階堂 剛 桜井 秀三
杉浦 誠一



議会運営委員会

- 委員長 末松 裕人
副委員長 渡辺美喜子
委員
山中 啓之 織原 正幸
杉山 由祥 諸角 由美
深山 能一 伊藤余一郎
桜井 秀三

教育経済常任委員会

- 委員長 渋谷 剛士
副委員長 石川 龍之
委員
関根ジロー 高橋 伸之
石井 勇 宇津野史行
渡辺美喜子 山口 栄作
谷口 薫 末松 裕人
小沢 曉民



健康福祉常任委員会

- 委員長 木村みね子
副委員長 岩堀 研嗣
委員
山口 正子 原 裕二
安藤 淳子 伊東 英一
こひら由紀 城所 正美
山沢 誠 張替 勝雄
伊藤余一郎

都市整備常任委員会

- 委員長 市川 恵一
副委員長 飯箸 公明
委員
海老原 弘 川井 清晶
大橋 博 鈴木 大介
高木 健 諸角 由美
大井 知敏 田居 照康
平林 俊彦

11月臨時会

平成22年11月29日に改選後初の臨時会を開催しました。始めに議長、副議長の選挙を行い、続いて各委員会の委員を選任し、そして委員長、副委員長の互選を行いました。その後、松戸市議会議員、特別職や一般職の期末手当を引き下げる議案が上程され、総務財務常任委員会で審査した後、本会議で採決しました。さらに、議会選出監査委員を選任する議案に同意し、閉会しました。

12月定例会

平成22年12月定例会を12月6日から22日までの会期で開催しました。

今定例会は、平成23年度から32年度までのまちづくりの方向性を示す「松戸市総合計画後期基本計画の策定」など、市長より提出された議案15件や市民から提出された陳情3件を各常任委員会で審査しました。また、最終日には、これらの案件のほかに副市長を選任する追加議案や議員提出議案が上程され、それぞれ採決しました。

(審議結果は4面に掲載)

一般質問

12月定例会では、33人の議員が市政に関する一般質問を行いました。ここでは、各議員の主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※ 議長、副議長および議会選出監査委員は、慣例により一般質問を行わないこととしております。

(会派名の略称)

政策グループまつど未来 ↓ まつど未来
松戸市では、3人以上の会派を公式な会派としているため、3人未満については無所属と表記しています。

市民病院を移転して立て替える考えは

松政クラブ 桜井秀三

問 市立病院で市民の命と健康を守るために働いている職員のためにも、新病院は移転して建て替えるべきと考えがどうか。

答 現在、松戸市立病院建替計画検討委員会が、市が委託したコンサルタントの現地建て替えプランを専門的に議論している。各委員には、コストダウンの手法の検討、工事中の騒音や安全対策、医療従事者が安心して働ける環境への配慮などの視点で、検討していただいているところであり、現段階での論議は差し控える。

県立矢切高校の統合後の方向性は

まつど未来 深山能一

問 今後の対応と地権者である千葉県との協議の進捗状況はどうか。

答 当該土地は、矢切耕地全体を考えた上で非常に重要な場所と認識している。千葉県では「学校は生徒のためのものであり、在校生がいる間は、統合後の話は避けた」という考えであった。公式な問い合わせはないが、11月に県知事に会い直接要望するなど、今後も機会があることに話をする考えである。また、統合後の使途

小中学校へのクーラー設置は

公明党 伊東英一

問 猛暑対策として、小中学校へのクーラー設置計画は。

答 現在、小中学校全校の特別支援教室、保健室およびカウンセラー室等には設置済みである。また、職員室は中学校全校、音楽室については中学校9校に設置してある。普通教室については、小中学校とも設置されていないが、夏休み期間もほぼ毎日勤務する小学校の職員室には、順次設置する考えである。なお、普通教室への必要性は十分に認識しており、設置までの間は、扇風機の導入を検討していく。

妊婦健康診査で公費負担となった検査への対応は

公明党 織原正幸

問 厚生労働省からの通知を受けて、どのように対応するのか。

答 平成22年10月6日付け、HILSV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）抗体検査が公費対象に加えられたとの通知があり、完全実施は23年度になる見込みである。これまで妊婦の大部分の方は初回健康診査でこの検査を受け、

国民健康保険料と介護保険料の引き下げは

日本共産党 高木 健

問 保険料の引き下げについて、具体的な検討内容は。

答 国民健康保険料については、一般会計から15億円の繰り入れを行った結果、1人当たり年間1万5千円程引き下げをしたこととなる。医療費は毎年増加しており、収納率向上等の対策や補助金の確保により値上げの抑制を検討している。

空き家による被害対策は

公明党 山沢 誠

問 空き家によって安全面等の問題も出ているが、その解消策は。

答 空き家による被害のうち繁茂対策については、平成18年より、樹木の繁茂に関する相談対策連絡協議会を設置し、対応している。空き家の被害については、それぞれ異なる事情を抱えており、解決策としては、きめ細やかな調査と対応が欠かせないため、地域との連携による情報の収集が求められる。今後は、安全安心のまちづくりのため、先進市の取り組みを研究していく考えである。

市立病院の経営状況は

市民力 山中啓之

問 市立病院経営改革プランの

達成度合いと目標達成の見込みは。
答 平成21年度の達成率は約35%であった。未達成項目は、地域医療支援病院加算、7対1看護基準導入による加算取得および委託契約の見直し等がある。委託契約については見直し中であり、23年度までの改善を目指している。また、目標が達成されても、さらに根本的な改革が必要であると考え、病院経営健全化プロジェクトを立ち上げ、病院のあるべき姿、経営の健全化および経営上の問題解決などに取り組んでいるところである。

八柱駅北口をバリアフリー化に

公明党 高橋伸之

問 新京成線八柱駅北口のバリアフリー化の進捗状況、整備計画および本市の負担割合等は。

答 バリアフリー化の必要性は十分認識しており、鉄道事業者に対して、繰り返し要望し、協議しているところである。現在、鉄道事業者から具体的な整備計画が示されていないので、本市の負担割合等については、明らかにできる段階ではない。一日も早いバリアフリー化の実現に向けて取り組んでいきたい。



バリアフリー化が、待たれる八柱駅北口

新松戸ダイエー前交差点をスクランブル化に

松政クラブ 杉山由祥

問 新松戸地区市政懇談会での要望内容と、なぜ歩車分離式にな

ったのか。また、スクランブル化や右折信号の設置等の要望に対する所轄警察署からの回答時期は。
答 市政懇談会においては、右折信号の設置、スクランブル交差点への変更等があった。歩車分離式への変更は、松戸警察署によると、交通事故原因の分析結果であるとのことであった。地元および市政懇談会からの要望は、松戸警察署長あてに要請しており、協議を継続していきたい。

事業仕分けの事業費を流用措置した理由は

無所属 中田 京

問 事業仕分けの委託予算は流用措置とのことだが、専決処分で行い、議会に諮る方法もあった。事業仕分けに関しては、議会の判断はいらぬという姿勢か。

答 事業仕分けは、①これまでの議会での質問を受けて検討してきた。②国民や市民の関心が高まっている。③近隣自治体でも実施している。④できるだけ早く実施したいなどの理由から実施した。事業仕分けの結果を平成23年度予算に反映させるとすれば、11月中に行う必要があると判断した。

常盤平団地再生について

市民力 海老原弘

問 常盤平団地は、空き部屋、不正入居、建物の老朽化、高齢化等の問題があると思うが、行政とUR（都市再生機構）との関係は。

答 URによると、空き家率は、平成22年3月末で、0から5%の範囲内であった。また、不正入居については、入居者と賃貸禁止の契約を結んでおり、また貸しはなすものとの認識であった。

常盤平老人福祉センターの建て替え後の運営等は

日本共産党 山口正子

問 新施設の運営は、これまでどおり市直営か。また、施設の利活用内容も変わらないか、特に風呂は存続するのか。

答 新施設は、財政状況が厳しい中でも必要な施設として現地で再整備したいと考えている。また、新施設は公設として建設し、運営する予定である。

市議会議員選挙告示前の郵送文書について問う

松政クラブ 小沢暁民

問 市長の氏名で特定候補者の支援を訴えた文書について伺う。

答 議会から反発など記載があるが、選挙後もそう思うか。②議会への説明や粘り強い説得等の努力が必要ではないか。③市長と党が少数でも努力により改革を進めている自治体もあるようだが、市長の存念は。④市長が文書や音声で流すのは違法なことではないのか。

入札制度の見直しについて

無所属 大橋 博

問 コンサル業務や物品購入の入札における地域要件（市内本店）の基本的考え方と現状は。

答 入札制度の基本理念は、適正な施工・公平な競争・透明性が確保されることにある。一方、自

治体は、地域経済の振興においても重要な役割を果たしている。この観点から地域要件の設定は、十分考慮すべきものと考えている。平成21年度の市内業者の受注状況は、設計コンサル業務を含む委託業務全体で約57%、衣料や印刷を含む物品購入全体で約60%である。

待機児童の解消対策は

無所属 安藤淳子

問 保育所の待機児童の解消に向けて、本市の取り組みは。

答 待機児童の状況は、平成22年10月1日現在65人であり、21年の同時期に比べて31人増である。年齢別の待機児童の状況については、0歳児17人、1歳児23人、2歳児15人、3歳児9人、4歳児は1人で5歳児以上はいない。本市としても、早急に認可保育園の新規設置をはじめ、短時間就労の方々が利用できる特定保育事業や、保育要件のない一時預かり事業など更なる拡充に努めたい。

収集袋の見直しを

公明党 諸角由美

問 燃やせるごみの紙袋収集の見直しをこれまで提案してきたが、その後の進捗状況を伺う。

答 燃やせるごみに限定し、「認定袋制度」を導入すべく、具体的な検討を始めている。今後は、ポリ袋の使い勝手の調査を松戸市消費者の会等に協力いただき、まずは、平成22年度中に燃やせるごみ専用の認定袋制度を固めたい。23年度中には、紙袋と併せて、市が認定したポリ袋も燃やせるごみの袋として使えるようにしたい。



駅周辺に保育所開設は

公明党 渡辺美喜子

問 保育所待機児童の中で、2歳児以下の入所が難しいと聞いている。駅周辺のビル内に乳児専門の保育所を開設できないか。

答 認可保育所として、駅周辺のビルを利用し、0、1歳児に特化した保育を実施することは、法人の確保、高価な家賃等さまざまなハードルがあり、実現に向けて厳しい状況である。提案の保育所は、保護者の利便性や需要を勘案する中で、必要性を認識している。今後、主要ターミナル駅周辺を含め、設置の検討をしていきたい。

受動喫煙の健康被害防止を

公明党 飯簗公明

問 平成14年に策定した「健康と健康」の成果と今後の方向性は。

答 成果は、15年に制定された「健康増進法」や「松戸市安全で快適なまちづくり条例」の後押しもあり、公共施設内禁煙や医療施設等の敷地内を全面禁煙とすることができた。また、松戸駅、新松戸駅、新八柱駅地区は、条例による重点推進地区であり、喫煙の禁止地区に指定している。今後も健康問題を取り上げ、禁煙の勧めや受動喫煙防止に取り組みたい。

高齢者肺炎球菌予防ワクチンの助成を

公明党 矢部愛子

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの医療費助成の考えを伺う。

答 国は、高齢者肺炎球菌ワクチンを定期接種の対象としていない。接種については、国の責任による定期接種と自己責任による任意接種の2種類であった。平成21

年の新型インフルエンザの発生で接種は自己責任で行い、国は公費で助成するというものができた。国の施策の流れが変わってきていることを踏まえ、できるだけ早く国の助成の下で、接種がなされるよう期待している。

商業の活性化を目指して

無所属 関根ジロ

問 松戸市商圏調査の結果、周辺都市と比較して顧客流入比率はどうなっているか。

答 流入比率の分析結果は、柏市では127.7%、船橋市では102%、本市では85.5%であり、消費者の流出が見受けられ他市と比較して厳しい状況にある。各商店街では、創意工夫をし、魅力ある商店街づくりを行っている。地域力を高め、外から訪れた方が、また来たくなるような空間づくりをすることが活性化につながる重要課題と考える。



市立病院建て替え問題で退職した医師数は

市民力 原 裕二

問 平成22年6月に実施した市立病院の医師へのアンケートで、現地で建て替えなら6割が退職を検討するという新聞報道があったが、22年7月から11月までに退職した医師の人数と理由は。

答 常勤医師の退職状況は、7月から11月までの間、8人が退職し5人を採用した。医師の場合、

能力を向上させるために大学等で臨床経験を積み重ねるため、退職と採用が年間を通じて発生する。現時点で、病院建て替えを理由に退職した事案は把握していない。

若者に雇用やチャレンジの場を

無所属 鈴木大介

問 若者に対する雇用促進や市内での起業助成の取り組みをPRする方法と実績について伺う。

答 市では、若者への就労支援について、さまざまな事業を行っている。PR方法は、広報やホームページ等への掲載などである。また、市内の大学等と連携し、情報提供もしている。実績としては、パソコン・簿記講座に39名、個別就職相談室には55名の相談があった。県とのジョブカフェでは共催セミナーには、定員以上の55名の参加があった。

公正な選挙運動を

公明党 石川龍之

問 今回の市議会議員選挙では、特定の候補者が告示前から選挙事務所に看板を掲げる、選挙カーと同仕様の車で街宣するなどの行為があった。市民の方からは、どのような声を伺っているか。

答 市民の方からの声については、まさに質問の内容と同様で、大変困惑したところである。当該陣営や候補者に指導して改善を促し、改善がみられない場合は、関係当局の対応に委ねた。今後のためにも厳正に対応し、関係当局と連携を取っていききたい。

休止しているごみ焼却施設の今後は

無所属 杉浦誠一

問 六和クリーンセンターは、ごみ処理基本計画で平成30年度に稼動となっているが、現況と今後の見通しを伺う。

現在、管理棟は市の詰所、隣接の青松園は地域の集会所となっている。施設を解体するには、膨大な経費が掛かり、国の支援が不可欠で、解体後も清掃関連施設を新設することが条件となるので、現地の活用方針が決定してからになる。今後も適切な管理と地元の方との信頼構築に努め、建て替えの可能性を検証したい。

小学生に放課後の居場所と学習支援を

松政クラブ 石井 勇

問 柏市では、「放課後こども教室」という事業を実施して、学習やスポーツ活動の機会を提供しているが、松戸市の取り組みは。

答 本市では、平成23年1月から児童が安全に安心して過ごせる「放課後キッズルーム」事業を開始する。まずは、モデル校2校で6年生までの全児童を対象に、図書室での読書や宿題の指導といった学習支援などを行う。いずれは開催日の増加や内容の充実を図り、子どもの成長を支える基盤として、地域とともに進めていきたい。

東松戸病院および梨香苑の存続について

日本共産党 宇津野史行

問 東松戸病院および梨香苑の機能停止や移転計画について、正式に廃案・撤回を表明すべきと考えるが見解を伺う。

答 機能停止案については、議会との協議の中で、「東松戸病院および梨香苑は現在のまま存続させたい」と答えている。また、これまでの移転案は、平成25年春の新病院開設が前提となっていた。現地で建て替えの可能性を検証・検討している現時点では、機能停止移転のいずれの案も具体的に進める状況にはない。

松戸版スクールガードリーダーの委嘱を

まつど未来 市川恵一

問 地域の子どもは地域で守るというスクールガード活動を拡大し、市民の方の認識度を高めるためにも、松戸版スクールガードリーダーを委嘱してはどうか。

答 平成18年度から国の「地域ぐるみの学校安全体制整備事業」で県が委嘱したスクールガードリーダーの指導の下、市内全小学校で学校安全ボランティア、いわゆるスクールガード活動を行ってきた。現在、本市での委嘱は考えていないが、今後も組織的・継続的な活動を支援し、発展に努めたい。



「くるまに気を付けて渡ろうね!!」

特別支援教育の充実を

日本共産党 高橋妙子

問 特別な教育的ニーズを持つ児童生徒の状況と特別支援教育支援員のあり方を伺う。

答 平成22年5月に行った調査の結果、通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒は、その疑いのある子どもも含め939人であった。現在それぞれが、個々の教育的ニーズに応じ、特別支援学級や校内で指導・支援を受けている。支援員の配置は、児童生徒の介助だけでなく、学校全体でどう取

り組み、いかに支援力を向上させていくかを目指すものである。

放課後児童クラブ 定員の見直しは

無所属 二階堂 剛

問 放課後児童クラブは、平成22年度に全校配置が完了し、利用者も増えている。定員の見直しと準要保護世帯の利用料の考え方は。

答 定員については、過去3年間の利用児童数が、定員の1.3倍を超過し、今後も減少見込みが無いことから、施設が確保されているクラブで見直しをしてきた。23年度に対象となっているのは、牧野原放課後児童クラブで、40人から60人への変更を検討している。準要保護世帯の利用料は、法人への補助金額とともに検討していきたい。

市長自ら規範を示す考えは

無所属 川井清晶

問 市長は、マニフェストに退職金などの廃止を掲げているが、自ら給与をカットする考えは。

答 市長の退職金は、支給しない方向で提案する準備をしている。市長給与の削減については、仕事への対価という側面が強く、退職金とは別なものと考えており、現段階では想定していない。松戸市を都市間競争に勝ち残る自治体にするためには、市民議会や職員等からの信頼が必要であり、市長として、まず規範を示すことは重要であると考えている。

私立幼稚園の延長保育への支援を

松政クラブ 木村みね子

問 保育園待機児童の解消策として、私立幼稚園の延長保育を支援する考えは。

幼稚園で延長保育が行われている。本市では、11月にスタートした「魅力ある子育てタウン創造プロジェクト」の中で、幼稚園の延長保育についても検討していきたいと考えている。幼稚園の延長保育を含め、さまざまな施設や制度が、市民にとって、より利用しやすいものとなるよう、総合的に研究していきたい。

松戸市の更なる財政改革を

市民力 谷口 薫

問 財政改革のために教育委員、農業委員や監査委員の月額報酬制を見直す考えはないか。

答 行政委員の報酬については、月額報酬による支給方法を月額報酬に改めた自治体もある。行政委員は、特定の行政分野であり、市長から独立して行政権を行使する重要な職責を担っており、単に勤務日数だけをもって評価できる性質のものではない。月額報酬制の見直しは、行政委員の職務内容や職責を考慮し、慎重な検討が必要であると考える。

地域経済の活性化のために

日本共産党 伊藤余一郎

問 「住宅リフォーム助成制度」は、直接家計を応援することで、市内業者の仕事が増え、地域経済も活性化し、全国的にも広がりつつあるが、導入する考えはないか。

答 この制度は、目的を限定せず、住宅リフォームの工事代金の一部を助成するものである。現在、国では耐震改修、バリアフリー化や省エネ改修を促進する制度が実施されている。本市では、この制度を活用し、対応している。今後は、千葉県や他市の動向を見極めながら検討していきたい。

11月臨時会・12月定例会 審議結果

番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
11月臨時会			第41号	指定管理者の指定について（北山会館）	同意 全会一致
市長提出議案			第42号	指定管理者の指定について（まつど市民活動サポートセンター）	同意 全会一致
第24号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第43号	指定管理者の指定について（松戸駅東口自転車駐車場ほか52施設）	同意 全会一致
第25号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第44号	副市長の選任について	同意 全会一致
第26号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	議員提出議案		
第27号	監査委員の選任について	同意 全会一致	第21号	公的年金の底上げを求める意見書の提出について	否決 多数意見
第28号	監査委員の選任について	同意 全会一致	第22号	生活保護の老齢加算の復活を国に求める意見書の提出について	否決 多数意見
12月定例会			第23号	中小企業への支援策を抜本的に強化するよう求める意見書の提出について	否決 多数意見
市長提出議案			第24号	介護保険制度の改定に関する意見書の提出について	否決 多数意見
第29号	平成22年度松戸市一般会計補正予算（第3回）	可決 全会一致	第25号	障害者自立支援法を一刻も早く廃止するよう求める意見書の提出について	否決 多数意見
第30号	松戸市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第26号	日本農業の再生を求めて、TPPには参加しないよう求める意見書の提出について	可決 多数意見
第31号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第27号	切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第32号	松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	継続審査	第28号	北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃に関する意見書の提出について	可決 全会一致
第33号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第29号	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書の提出について	可決 全会一致
第34号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	動議		
第35号	松戸市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見		市立病院建設検討特別委員会の設置について	可決 全会一致
第36号	松戸市生きがい福祉センター条例を廃止する条例の制定について	可決 全会一致	陳情		
第37号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第8号	最低基準の改善と待機児解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める意見書の提出を求める陳情	不採択 多数意見
第38号	契約の締結について（松戸市立和名ヶ谷小学校校舎耐震改修工事）	同意 全会一致	第9号	従軍慰安婦問題への対応についての意見書提出に関する陳情	不採択 全会一致
第39号	松戸市総合計画後期基本計画の策定について	継続審査	第11号	松戸市の社会教育関係団体に対する支援継続を求める陳情	採択 全会一致
第40号	市道路線の廃止及び認定について	可決 全会一致			

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読したテープの貸し出しをしています。詳しくは左記までご連絡ください。

住所 松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047(383)7111
TEL 047(383)7111

市立2病院の今後のあり方と建て替え等に関するについて、議会として論議や検討をするため、9名の委員が新たに選任されました。

委員長 中山英孝
副委員長 山沢誠
委員 織原裕二、石川幸二、杉山龍之、山口由作、山口栄一、張替雄、伊藤余一郎

市立病院建設検討特別委員会

副市長を選任しました。（敬称略）
織原和雄

人事案件

山口栄作、城所正美の両議員が選任されました。

議会選出監査委員

意見書4件提出

編集の窓

次回の発行 予定は5月1日(日)です

議会を傍聴しませんか。
問い合わせ先 市議会事務局
TEL 047(366)7382

期日	主な内容
2月23日(水)	招集日・本会議（施政方針・議案説明）
24日(木)	常任委員会（先議議案審査）
3月1日(水)	本会議（先議議案採決）
2日(木)	本会議（一般質問）
3日(金)	〃
4日(土)	〃（一般質問・議案質疑）
7日(月)	総務財務常任委員会
8日(火)	健康福祉常任委員会
10日(木)	教育経済常任委員会
14日(月)	都市整備常任委員会
15日(火)	予算審査特別委員会
16日(水)	〃
17日(木)	〃
22日(火)	〃
24日(木)	本会議（議案等の採決）

3月定例会の開催予定
平成23年松戸市議会3月定例会は、2月23日（水）から3月24日（木）まで開催される予定です。請願・陳情は、2月14日（月）正午までに提出してください。

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 日本農業の再生を求めて、TPPには参加しないよう求める意見書
- 切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書
- 北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃に関する意見書
- 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

広報委員会

委員長 飯箸公明
副委員長 石井正子
委員 山口英一、伊東啓一、山中一、市川恵一、洪谷剛士、木村みね子

2011年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。昨年の11月に行われた松戸市議会議員一般選挙で、市民の皆様から選出された44人の議員による新しい議会活動がスタートいたしました。本年は、将来の方向を示す後期基本計画が開始する年であり、医療、介護、雇用、環境、教育などの諸課題の解決に全力で取り組む重要な時を迎えております。また、昨今では、住民が自治体の首長と地方議会の議員を選ぶ「二元代表制」のあり方に関する議論が活発化しており、地域住民を代表する地方議会の役割がますます重要になってきました。そのような流れの中、議会の活動をこれまで以上に市民の皆様に分かっていただく議会だよりとすため、広報委員一同努力する所存です。